



SUNNY HOLIDAY

重松 あかね さん

活動場所を提供して下さい！

SUNNY HOLIDAYの活動を受け入れてくださる
病院施設からの連絡をお待ちしています。

✉メールアドレス

E-mail: sunny_holi@yahoo.co.jp

重松さんの体験 1

ボランティアを始めたきっかけは？

小さい頃から音楽を親んでいましたし、写真もアートも好き。20代前半は自分の好きなことを通して広がる世界にワクワクする日々が続きました。しかし、20代後半になって別の人生の側面も少しずつ感じるように…。どんな人生もドラマに満ちています。不慮の事故や災難、重い病いなど大変な苦痛に見舞われることも。どれだけ笑顔で語りかけても、その苦しみを和らげられないこともあるということ。そんなとき、言葉ではあらわせない音楽やアートのもつ大きな可能性に気が付きました。そこで、AMDA後援をいただき写真の個展を開くと同時に仲間を募り、街で、病院で、施設でアート活動や音楽活動を始めました。



重松さんの個展作品 『雲』

SUNNY HOLIDAYというグループ名の意味は？

この名前には、「陽だまりのなかの休日」という意味が込められています。さまざまな能力を持つ人のゆるやかなネットワークをつくりたいという願いを込めて名付けました。仕事をしながら、学業をしながらでも参加できるように。自分の好きなことを、他の人と共有して、さらに素敵な休日がすごせるように。そして、コンサートや展覧会へ行けないところにいる人にも、休日の安らぎを味わってもらうために。参加する人すべてが楽しめるように。

重松さんの体験 2

SUNNY HOLIDAYのこれまでの活動内容は？

活動を開始してから、3年目にさしかかりました。振り返ってみると、街で活躍するアーティストを招き入れることもあれば、施設を中心に活動していた弦楽合奏のグループが街に飛び出して飛躍していくことも。どちらにしろ、街と病院や施設がつながっていく様を見るのは楽しいことです。

メンバーの持っている能力はそのときそのとき集まるメンバーや受け入れ側の状況で変わってきます。その時にできることを形にしていいため、それに合わせて活動形態も変わっていくのが大変なところでもあり、面白いところでもあります。総合病院や、精神病院、養護学校などでの演奏活動、写真や絵画の展示、ワークショップなどを行ってきました。

岡山大学付属病院では、少人数から20名近くと、比較的多人数での弦楽合奏による院内コンサートを何度も行っており、仲間や患者さんと音楽を楽しむことができている。また、私にとって精神病院の閉鎖病棟での演奏は豊かな感動を与えてくれる大切な場所です。今までご協力いただいたところは岡山県立病院と河田病院です。音楽の持っている意味や活動を始めた自分自身の気持ちを深く感じます。共に笑い、涙もします。独りで行って演奏がうまくいなくて笑われ、患者さんが代わりに唄を披露してくれて助けられたことも…(笑)。

活動は、受け入れ側の病院のスタッフと医師や医学生のメンバーが連携を取ることもありますし、他分野の人ならではの企画もあります。さまざまな分野の人が絡み合うことによって、活動内容が深まることが多々あります。メンバーの自発的な動き、モチベーションを大切にしています。その気持ちが病院スタッフや患者さんの心に新しい風を吹かせてくれれば幸いです。



鹿田カルテット
医師として岡山を出るメンバー
のための解散コンサート間近



若手グループの「バンドエイド」
も活躍しています



院内コンサートの風景
(2004年12月26日)



院内コンサートの風景
(2004年春)

Part 8

体験談

募集

講座・イベント

お役立ち情報